

2005年7月20日（水）新潟会場 / 2005年7月26日（火）長崎会場
2005年7月28日（木）東京会場

「地理情報の標準化動向
～地理情報標準プロファイル（JPGIS）の紹介～」

国土交通省 国土地理院 企画部 地理情報システム推進室 標準係長 大塚孝治氏

地理情報の標準化動向 - 地理情報標準プロファイル (JPGIS) の紹介 -

国土地理院企画部地理情報システム推進室 大塚孝治

地理情報標の標準化

地理情報の標準化とは、空間データの相互利用環境を整備するため、データの設計、品質の考え方等、データ作成に係わる共通のルールを規定したものである。

これまでの取り組み

国際的には ISO/TC211 により地理情報に関する約 40 項目について、標準化作業が行われている。

国内では、ISO/TC211 の国際標準を基に空間データ作成等に係わる 13 項目について、国土地理院と民間企業の官民共同研究で「地理情報標準」を作成し、順次 JIS (日本工業規格) 化している。

「地理情報標準」は、地理情報システム (GIS) 関係省庁連絡会議において政府の技術的標準と位置づけられている。また、政府は率先して使用し、地方公共団体や民間においても積極的に使用されるよう、標準の普及活動や技術支援を実施するとされ、普及促進のためセミナーの実施、マニュアルの整備等を行ってきた。

地理情報標準プロファイル (JPGIS)

「地理情報標準プロファイル」は、「地理情報標準」を利用しやすくするため、実利用に必要な項目を抜き出し、コンパクトにしたものである。

具体的には、これまでの官民共同研究の成果を参考に、最新の地理情報標準 (JISX71XX シリーズ) 及び国際標準 (ISO191XX シリーズ) の中から、実利用に必要な内容を抜き出し体系化したもので、平成 17 年 5 月に公開した。

国土地理院では、今後「地理情報標準プロファイル」の利用を促進することで「地理情報標準」の普及を図っていく。また、国土地理院が提供する地図データは原則として「地理情報標準プロファイル」に準拠していく。さらに、関係省庁連絡会議等を通じて、国、地方公共団体、民間に「地理情報標準プロファイル」の利用を推進し、地理情報の相互利用環境の整備に努めていく。

詳しくは

<http://www.gsi.go.jp/GIS/index.html>

講演の流れ

- 1 . 地理情報の標準化
 - 2 . これまでの取り組み
 - 3 . 地理情報標準プロファイル (J P G I S)
-
- 1 . 地理情報の標準化
 - ・ 標準化の背景
 - ・ 標準化の考え方
 - ・ 標準は難しいか
 - ・ 標準で規定しているもの
 - ・ 何が作れるのか
 - ・ 標準のメリットは
 - ・ 他の例では
 - ・ どのように使うか 1 (発注)
 - ・ どのように使うか 2 (公共測量)
 - ・ どのように使うか 3 (利用)
 - ・ 将来のすがた
 - 2 . これまでの取り組み
 - ・ 国際標準から国内標準へ
 - ・ 国際標準 (ISO/TC211 とは)
 - ・ 国際標準 (ISO/TC211 の動向)
 - ・ 国内標準 1 (地理情報標準とは)
 - ・ 国内標準 2 (項目)
 - ・ 地理情報システム (GIS) 関係省庁連絡会議
 - ・ 今後の展望
 - 3 . 地理情報標準プロファイル (JPGIS)
 - ・ 背景
 - ・ 目的
 - ・ JPGIS とは 1
 - ・ JPGIS とは 2
 - ・ JPGIS とは 3
 - ・ どのように作成されたか
 - ・ 国土地理院の対応 1
 - ・ 国土地理院の対応 2
 - ・ 何をすべきか
 - ・ おわりに